

NPO法人あさひ



今月のシリーズまち・ひと・しごとは、障がいのある方への社会自立と就労支援を目指し、地域で幅広い活動を続けている「あさひ」の皆さんにお話を伺いました。利根町初の特定非営利活動法人（NPO 法人）として設立し、今年で 20 年を迎えるあさひで就労する利用者は現在 3 名。理事長の本橋康夫さん、支援員の宮本純江さんのほか、約 20 名のボランティアさんとともに活動をしています。



左から利用者の北澤美由紀さん、本橋康夫理事長、利用者の原敏廣さん、利用者の田上照和さん、支援員の宮本純江さん

「当時は、活動資金の捻出にとっても苦労しました。空き地を持つ地主さんに手紙を出して草刈りを一手に請け負ったり、内職もたくさんやりました。最初は

大き窓から太陽の光が差し込む明るい部屋。色とりどりの織り物作品が飾られ、ギャラリーのような雰囲気の中に、織り機を踏み音が心地よく響きます。それまでサラリーマンをしていた理事長の本橋康夫さんが、二人の発起人と一緒に NPO 法人を立ち上げたのは、今から 20 年前。きっかけは、「障がいのある方や高齢者が地域と関わりながら自立して生活していける場所や仕組みを作りたい。そのためには地域に協力していただかなくてはいけない。」との思いからでした。設立当初は早尾台の奥まった場所であり、そこから見える朝日がとてもきれいだっただけから「あさひ」という名前に決めたそうです。

老後も地域と関わりながら自立していける場所に

火の車というか。本当に大変でしたね。」と振り返る本橋理事長。徐々に活動を広めていくなかで、趣旨を理解してもらい、地域に溶け込んで多くの方々と交流できるようさまざまな行事を催してきたそうです。元日には地域の方々を招き、お神酒や甘酒を振舞うイベントを開催し、毎年一月の第三金曜日には新春コンサートも行ってきました。その後、早尾台だけではなく利根町内でも広く知ってもらうため、桜の季節に役場庁舎五階でカフェを開いたり、桜まつりや地場産業フェスティバルに出店するなど町内のイベントにも積極的に参加しています。



TONE

広報とね

2021年6月号



今月の表紙

表紙の写真は、「シリーズ まち・ひと・しごと」で取材した「NPO法人あさひ」で働く北澤美由紀さんです。3～5頁で、設立から20周年を迎えるNPO法人あさひの活動内容や、北澤さんたちが作るあさひ織りなどについて紹介しています。ぜひご覧ください。



～利根町百景～

1:6ヘクタールある園内では、カキツバタ、ヒメスイレンなどの水生植物をはじめ、桜やアジサイなど、季節ごとの花が楽しめます。毎年6月下旬頃からは、池一面に大輪の古代ハスが咲き誇り、その光景をカメラに収めようと、遠方から足を運ぶ写真家もいるほどで、撮影するならハスが開花する早朝から午前中がおすすめのこと。池の中を覗くと、メダカやオタマジャクシなど水辺の生き物たちにも出会えます。天気の良い日は、利根親水公園の散策に出かけてみませんか。

利根親水公園の古代ハス

■ 利根町中谷 1628

■ Pあり（入園無料）

情報をお寄せください!!

広報とね「利根町百景」は、読者の皆さまから寄せられた情報をご紹介するコーナーです。利根町で見つけた美しい景色、珍百景、新百景など、利根町の魅力となる情報を写真付きでお寄せください。

【応募方法】

写真および紹介文（250文字程度）をメールで下記まで送付してください。

総務課秘書広聴係 ☒ kouhou@town.tone.lg.jp

もくじ -contents-

広報とね 2021年6月号

- 2 利根町百景／もくじ
- 3 シリーズまち・ひと・しごと # 37 個性を織る NPO 法人 あさひ
- 6 まちの話題
- 7 Pick UP !
- 10 利根町長選挙
- 12 暮らしの情報欄
- 17 防災掲示板
- 18 お知らせ -TONE information-
- 24 日本ウェルネススポーツ大学通信 Campus ! フリフリグッパ体操 とねワイワイくらぶ
- 26 SDGs 世界を変えるための 17 の目標
- 28 保健福祉センターだより／健康レシピ
- 30 こんにちは！とね子育て支援センターです わが家のアイドル写真館
- 31 図書館へ行こう
- 32 とねまちプレイバック



「広報とね」では、高齢者や弱視の方を含む、すべての皆さまが読みやすい紙面とするため、視認性の高い文字「ユニバーサルデザインフォント (UD フォント)」を使用しています。